



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社  
 コード番号 9776 URL <https://www.saturin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 忠應  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 南 誠  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札  
 TEL 011-613-3210

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,250	6.8	816	24.8	971	14.7	493	25.5
2022年3月期第3四半期	14,285	10.0	1,086	45.2	1,139	50.1	661	36.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 583百万円 (8.3%) 2022年3月期第3四半期 635百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	147.85	
2022年3月期第3四半期	193.96	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	16,893	10,814	62.2	3,154.43
2022年3月期	16,149	10,337	62.6	3,016.24

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,506百万円 2022年3月期 10,114百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		23.00	23.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,364	1.3	1,165	24.2	1,110	30.8	714	31.5	213.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,216,000 株	2022年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	885,422 株	2022年3月期	862,722 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,335,695 株	2022年3月期3Q	3,411,956 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しておりますが、行動制限の解除以降、ウィズコロナの下で、徐々に経済活動が正常化に向かい、緩やかに持ち直しの動きがみられました。

一方で、長期化するロシアのウクライナ侵攻に起因する世界的な原油・原材料価格の上昇や、円安の進行等により個人消費が冷え込むなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、医療費抑制政策等の社会的要請を背景に、引き続き後発医薬品の使用拡大及びセルフメディケーションに対する取り組み強化等の対応が求められるとともに、継続的な薬価改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、更なる経営努力が求められる厳しい事業環境となっております。

このような状況から、当社グループは、感染症の影響を踏まえた計画のもと、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な企業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得等による営業基盤の拡大と継続的な経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,250百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益816百万円（同24.8%減）、経常利益971百万円（同14.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益493百万円（同25.5%減）と増収減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、診療報酬の改定に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける状況下において、PCR検査の診療報酬の引下げがありました。PCR検査の受託が増加したことに加え、前期に稼働した子会社2社の業績が順調に推移したことから、売上高6,411百万円（同15.8%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、前述のPCR検査の診療報酬の引下げに加え、PCR検査受託増による経費の増加及び人件費が増加したことから、セグメント利益532百万円（同28.2%減）と前年同期を下回りました。

#### ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、診療報酬の改定と薬価改定による薬価の引下げに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける状況下において、薬局を1店舗閉鎖しましたが、前連結会計年度に開局した2店舗、当期開局した1店舗及びOTCの売上増により、売上高8,039百万円（同1.2%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、前述した前期開局した2店舗、当期開局した1店舗、並びに既存店舗の設備投資等により経費が増加したことから、セグメント利益600百万円（同6.5%減）と前年同期を下回りました。

#### ③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の貸与等が前年同期を上回ったことから、売上高726百万円（同0.3%増）となりましたが、利益は、セグメント損失7百万円（前年同期はセグメント利益11百万円）と前年同期を下回りました。

#### ④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高72百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益49百万円（同9.9%減）になりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ884百万円増加（前連結会計年度末比12.2%増）いたしました。これは主にその他が564百万円減少しましたが、現金及び預金が1,061百万円、商品が195百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が187百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は8,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少（同1.6%減）いたしました。これは主に工具、器具及び備品（純額）が94百万円増加しましたが、建物及び構築物（純額）が142百万円、リース資産が62百万円、差入保証金が11百万円、投資その他の資産のその他が11百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は16,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ743百万円増加（同4.6%増）いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ427百万円増加(同13.0%増)いたしました。これは主に未払法人税等が184百万円、賞与引当金が89百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が401百万円、未払金が98百万円、その他が217百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は2,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円減少(同6.3%減)いたしました。これは主に長期借入金が100百万円、リース債務が70百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円増加(同4.6%増)いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は10,814百万円となり、前連結会計年度末に比べ477百万円増加(同4.6%増)いたしました。これは、剰余金の配当77百万円、自己株式の取得が29百万円それぞれ減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益493百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益が85百万円によりそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.2%となり、前連結会計年度末比0.4ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は3,154円43銭となり、前連結会計年度末比138円19銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は依然不透明であり、現段階においても継続することを仮定とし、2022年5月13日に公表しました予想値から変更しておりません。

今後、当社グループの業績予想において修正が必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,990,653	4,051,755
受取手形、売掛金及び契約資産	3,023,730	3,211,051
商品及び製品	409,540	605,209
仕掛品	26,799	11,447
原材料及び貯蔵品	54,352	70,371
その他	753,319	188,684
貸倒引当金	△28,751	△24,642
流動資産合計	7,229,644	8,113,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,960,833	4,470,636
減価償却累計額	△1,297,726	△949,712
建物及び構築物(純額)	3,663,106	3,520,924
機械装置及び運搬具	27,089	24,659
減価償却累計額	△22,030	△21,240
機械装置及び運搬具(純額)	5,059	3,419
工具、器具及び備品	2,148,429	2,300,179
減価償却累計額	△1,766,731	△1,824,104
工具、器具及び備品(純額)	381,697	476,074
土地	3,429,506	3,429,506
リース資産	715,290	718,163
減価償却累計額	△66,959	△132,752
リース資産(純額)	648,331	585,411
建設仮勘定	—	1,048
有形固定資産合計	8,127,702	8,016,386
無形固定資産		
その他	60,128	56,070
無形固定資産合計	60,128	56,070
投資その他の資産		
投資有価証券	142,407	144,295
長期貸付金	7	—
長期前払費用	29,916	24,195
差入保証金	179,172	167,595
繰延税金資産	162,164	163,973
その他	235,146	223,738
貸倒引当金	△16,841	△16,841
投資その他の資産合計	731,974	706,956
固定資産合計	8,919,805	8,779,413
資産合計	16,149,449	16,893,292

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,258,565	2,660,258
1年内返済予定の長期借入金	133,692	135,367
リース債務	106,041	115,230
未払法人税等	294,056	109,389
賞与引当金	120,975	31,959
未払金	125,075	223,679
資産除去債務	28,000	—
その他	215,389	433,193
流動負債合計	3,281,795	3,709,078
固定負債		
長期借入金	1,732,321	1,632,052
リース債務	610,978	540,050
役員退職慰労引当金	66,870	67,104
退職給付に係る負債	16,107	17,654
長期未払金	97,363	91,890
その他	6,053	20,483
固定負債合計	2,529,694	2,369,236
負債合計	5,811,490	6,078,314
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	8,812,690	9,228,753
自己株式	△728,236	△757,451
株主資本合計	10,083,073	10,469,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,227	36,164
その他の包括利益累計額合計	31,227	36,164
非支配株主持分	223,659	308,891
純資産合計	10,337,959	10,814,977
負債純資産合計	16,149,449	16,893,292

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,285,788	15,250,105
売上原価	9,558,379	10,426,960
売上総利益	4,727,408	4,823,144
販売費及び一般管理費	3,641,047	4,006,180
営業利益	1,086,360	816,964
営業外収益		
受取利息	179	132
受取配当金	5,482	5,082
受取賃貸料	33,592	30,659
助成金収入	50,435	146,072
その他	11,704	19,327
営業外収益合計	101,393	201,273
営業外費用		
支払利息	6,869	6,182
賃貸収入原価	37,107	33,385
その他	4,300	7,033
営業外費用合計	48,277	46,601
経常利益	1,139,476	971,637
特別利益		
固定資産売却益	133	18
特別利益合計	133	18
特別損失		
固定資産売却損	10,960	—
固定資産除却損	753	2,870
減損損失	28,552	78,137
本社移転費用	74,486	—
特別損失合計	114,753	81,007
税金等調整前四半期純利益	1,024,857	890,648
法人税等	364,707	312,227
四半期純利益	660,150	578,420
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,648	85,232
親会社株主に帰属する四半期純利益	661,798	493,187

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	660,150	578,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,273	4,937
その他の包括利益合計	△24,273	4,937
四半期包括利益	635,876	583,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637,525	498,125
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,648	85,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27号-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収 益	5,537,336	7,944,685	724,378	14,206,399	79,388	14,285,788
外部顧客への売上高	5,537,336	7,944,685	724,378	14,206,399	79,388	14,285,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	994,096	994,096	723	994,819
計	5,537,336	7,944,685	1,718,474	15,200,496	80,111	15,280,607
セグメント利益	741,257	642,074	11,575	1,394,908	54,549	1,449,458

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,394,908
「その他」の区分の利益	54,549
セグメント間取引消去	△4,176
全社費用(注)	△358,920
四半期連結損益計算書の営業利益	1,086,360

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収 益	6,411,270	8,039,474	726,418	15,177,162	72,942	15,250,105
外部顧客への売上高	6,411,270	8,039,474	726,418	15,177,162	72,942	15,250,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	495,312	495,312	2,556	497,868
計	6,411,270	8,039,474	1,221,730	15,672,474	75,498	15,747,973
セグメント利益又は損失 (△)	532,200	600,512	△7,718	1,124,994	49,123	1,174,118

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,124,994
「その他」の区分の利益	49,123
セグメント間取引消去	7,149
全社費用(注)	△364,303
四半期連結損益計算書の営業利益	816,964

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。